

支援プログラム

事業所名 ふあいんど

作成日（更新日） 2025年 2月 1日

法人（事業所）理念		出会えた人たちの幸せと一緒に考える			
支援方針		・子どもたちの「興味がある」を探す ・子どもたちの「夢中になれる」を探す ・子どもたちの「得意だ」を探す ・子どもたちを中心に、ご家族も集まれる場を目指す 子どもたちが夢中になる何かを見つけることができるように、完全オリジナルプログラム「ふあいんど100」を提供しています。 『ふあいんど』のプログラムを通し、様々な経験・体験を行うことで興味の幅を広げられるように取り組んでいます。 「できる・できない」ではなく「やりたい」という想いを大事にしています。 まずは目の前のことに取り組むように促し、頑張りを褒め、自信につなげられる支援をしています。 プログラム内容によっては専門性を高めるために外部講師を招いています。 日々、プログラム内容を変えて療育をすることで、自ら「夢中になれる」何かをみつけ、自発的に集団の輪に入り取り組むことができるような支援を行っています。 人は誰も得意不得意が必ずあります。 『ふあいんど』では、不得意なことや苦手なことに着目するのではなく、努力することに目を向け認めることを行っています。 子どもたちが楽しく療育に取り組むことで「得意だ」を見つけて自信につなげられるように支援しています。 子どもたちには、「明日も『ふあいんど』に行きたい!」「次はいつ『ふあいんど』に行けるの?」と言ってもらえる生活の場を提供していきます。 保護者には、「『ふあいんど』に通わせてよかった」「『ふあいんど』に行くようになってから〇〇ができるようになった」などと言っていただける療育を提供していきます。			
営業時間	平日	10:00~19:00	送迎実施の有無	あり	片道30分以内を想定しています
営業時間	土日祝 学校休業日	9:00~18:00	送迎実施の有無	あり	片道30分以内を想定しています
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	子どもたちが自立して健康的な生活を送ることができるように、身の回りのことから一つずつ身につけていきます。 ・毎日の手洗い、うがい、検温 ・身だしなみ、整理整頓 ・やるべきことの習慣化			
	運動・感覚	指先から全身まで多岐にわたる感覚刺激プログラムを用意して、運動感覚の向上を図ります。 ・E-Sports、粘土、工作、調理実習など、手先の感覚を重視したプログラム ・トランポリン、バランスボールなど、全身の体感を重視したプログラム ・運動会など、集団運動プログラム			
	認知・行動	子どもたちの特性に合わせたプログラムを使用し、認知機能を高めます。 ・日付、天気の把握と確認 ・そろばん、時計などを活用した数や時間の認知向上 ・お金学習など、認知と行動が複合したプログラムによるソーシャルスキルの向上			
	言語 コミュニケーション	発表・発信の機会を大事にすることで、多種多様なコミュニケーション能力の向上を図ります。 ・はじめの会、おわりの会を行い、言語コミュニケーションを図る ・英語、音楽などの表現プログラムに加え、外出や運動会など共同プログラムを活用した総合コミュニケーション能力の向上を図る ・興味のあることをみつけて意思表示をする場を設けることで、話す力と聞く力の向上を図る			
	人間関係 社会性	地域、スタッフ、子ども同士の接点を大事にすることで、対人関係の発達を促します。 ・プログラムを通じて集団で行動する機会を提供 ・公共施設を利用することで、公共マナーを学習 ・季節行事を活用して人との接点を増やす			
家族支援		・連絡帳を活用し情報共有を図るとともに、送迎時にも学校や家庭での様子を共有するように努めます。 ・定期面談だけでなく、保護者参加型のプログラムを活用して、保護者とともに子どもたちの成長を見守ります。	移行支援	・学校や事業所での様子や支援の取り組みについて情報共有を行い、子どもたちに合わせたステップを構築します。	
地域支援・地域連携		・地域社会との接点を増やすべく、近隣住民の協力を得た支援プログラムを行います。 ・地域の公共施設やそれに準じるサービスを体験することで、地域資源を活用します。	職員の質の向上	・朝礼、終礼だけでなく、コミュニケーションツールを活用した迅速な情報共有により、全職員が精度の高い支援を行えるようにします。 ・費用補助を行うことで、積極的な資格取得や研修参加を促します。	
主な行事等		外出機会：近隣施設の訪問、体験学習、ハロウィン等の近隣協力型プログラム 季節行事：夏祭り、運動会等			